

公開授業より 6月20日(月)

道徳 6年1組
 授業者： 先生

主題名

「友達と理解し合う」

目標：友達を互いに信頼し、学び合って友情を確かめながら、人間関係を築くことの大切さについて学び、本当の友達や真の友情とは何かについて、自分なりに考える。

「友達だから…」を考える → 資料「ばかじゃん」を読む → えりなへのアドバイスを考える → 改めて友達の存在について考える → まとめ

めあて：「ばかじゃん」を読み、えりなの気持ちを中心にして学び合う！



自分の考えをノートに記入

顔カードで表示



グループで話し合い



おれもたまに、きのみみたいに、フラワーやん、エイとか言っているから、次から言われた、聞いた人はどう思うのかをしっかりと考えて、言葉を変えて言おうと思いました。そして、おれにとっての友達は、世界の75億人の中の何十人くらいしかいないから、そんな少ない友達を一人でもなくさないように、大切に仲良くしようと考えました。その友達がなくさないように、口をなおして発言する言葉も考えて言おうと思います。(6年)

友達で、意見がちがって、ケンカもする事もあるかもしれないけど、そこから自分の考え、自分の気持ちを伝える事で、よりいっそうに信頼できて、尊敬できる友達ができるんだと初めて知りました。自分の考え、自分の気持ちを伝えるのが大切とも知りました。自分にとって友達の存在は、自分の気持ちを素直に伝えられる存在で、その関係をこわさないために、ケンカをしたりしたら、自分の気持ち、自分の考えを言いたいと思いました。(6年)

友達は、自分がこまったり、助けてほしい、相談にのってほしい時に、たよりになって、友達が逆にこまっていたら、そのことをいっしょに話したりして解決する。本当に、友達は、かけがえない存在だと思いました。(6年)

ぼくは、友達の事を一番話し合える存在だと思っています。友達とは6年間いっしょにいるから、仲がいいから話しやすい。もし、だれかとけんかしてしまったときは、友達のことをしんじ、ゆっくりと話を聞く。(6年)

友達とは、仲良く話したり遊んだりできると思います。そして自分は、友達とケンカしたりしたら、自分の気持ちを伝える方ではなくて、大庭相手がきて言うタイプだから、次からは、自分の気持ちをせっきよく的に相手に伝えていきたいな～と思いました。そして、相手に伝えるときは、自分は、こんなことを思ったから、こうなったんだけど、ごめんねとあやまったほうがいいと思いました。(6年)

友達とは、信頼できる人です。なぜなら、ケンカをしたときは、すぐに自分の気持ちを言って、相手の気持ちを取り入れながらできるから、信頼できる人だな～と思いました。(一方の意見ばかりを見ないで、周りの意見もみることが大事)(6年)

友達は自分にとっての心を成長させてくれるもので、ケンカとかしたりして仲直りして、自分と友達のことを分かり合うことで、心が一つ成長していく。関わりでむずかしくなった時、喜び合ったとき、いっしょに悲しんだりすることで、心が広がって、いろんな見方をしてくれるようになるものが、友達というものだと思います。(6年)

自分だけがきずつけられていると思わないで、自分かわるいかもしれないという考えをもって、今までの自分を振り返って、相手と自分の気持ちを言い、相手の気持ちも聞いて、お互いの気持ちを伝え合う。(6年)